

令和4年度一般選抜試験問題(後期)

数 学 (問 題)

注 意

- 1) 数学の問題冊子は7ページあり、問題はⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴの5題である。
- 2) 別に解答用紙1枚があり、各問題の指示に従って**解答はすべてこの解答用紙の指定欄に記入すること**。指定欄以外への記入はすべて無効である。計算や下書きは問題冊子の白紙・空白部分を利用して行うこと。
- 3) **解答用紙の所定欄に受験番号を記入しなさい。氏名を記入してはならない。**  
なお、記入した受験番号が誤っている場合や無記入の場合は、数学の試験が無効となる。  
また、※印の欄には何も記入してはならない。
- 4) 問題冊子は持ち帰ること。
- 5) 解答用紙を持ち出してはならない。
- 6) 試験終了時には、解答用紙を裏返しておくこと。解答用紙の回収後、監督者の指示に従い退出すること。

I  $i$  を虚数単位とするとき、以下の設問に答えよ。なお各設問の答えは解答用紙の指定欄に記入し、左の枠内には答えの導出過程を簡潔に記入すること。

(1)  $k$  が奇数のとき  $\left\{ \frac{\sqrt{3} + i}{2} \right\}^{3k} + \left\{ \frac{\sqrt{3} - i}{2} \right\}^{3k}$  の値を求めよ。

(2)  $\left\{ \frac{\sqrt{3} + i}{2} \right\}^{2022} + \left\{ \frac{\sqrt{3} - i}{2} \right\}^{2022}$  の値を求めよ。

II 自然数の 2 乗で表される数を平方数という。 $n^2 - 30n + 210$  の値が平方数となるような、素数  $n$  をすべて求めよ。

Ⅲ  $xy$  平面上に、円  $C : x^2 + (y + 1)^2 = 1$  がある。 $x$  軸上の異なる 2 点  $A, B$  と、円  $C$  の外部に存在する点  $P$  をとる。ただし、 $A$  の  $x$  座標は  $B$  の  $x$  座標よりも大きいものとし、点  $P$  は  $x$  軸上にないものとする。 $A$  の座標を  $(t, 0)$ 、 $P$  の座標を  $(X, Y)$  とするとき、以下の設問に答えよ。

(1) 直線  $AP$  の方程式を求めよ。

(2) 直線  $AP$  と直線  $BP$  がどちらも円  $C$  の接線であるとき、 $t$  を  $X$  と  $Y$  を用いて表せ。

(3) (2)の条件に加えて、 $P$  が  $AB = 2$  を満たしながら動くとき、その軌跡を図示せよ。



IV  $xy$  平面上に、点  $A(1, 0)$  をとる。原点を中心とする半径 1 の円に内接する正八角形の頂点を反時計回りに  $A, B, C, D, E, F, G, H$  とする。頂点  $A, B, C$  の 3 点を通る放物線を  $P_1$ 、頂点  $A, B, D$  の 3 点を通る放物線を  $P_2$  とする。この問題でいう放物線とは、その軸が  $y$  軸に平行なものとするとき、以下の設問に答えよ。なお、各設問の答えは解答用紙の指定欄に記入し、左の枠内には答えの導出過程を簡潔に記入すること。

- (1)  $P_1$  の方程式を求めよ。
  
- (2)  $P_1$  上に、正八角形の  $A, B, C$  以外の頂点は存在するか。存在するならば、その頂点を求めよ。
  
- (3)  $P_2$  の方程式を求めよ。
  
- (4)  $P_2$  上に、正八角形の  $A, B, D$  以外の頂点は存在するか。存在するならば、その頂点を求めよ。
  
- (5) この正八角形の頂点から異なる 4 点を無作為に選んだときに、この 4 点が 1 つの放物線上にある確率を求めよ。



V 座標平面上に、関数  $f(x) = \frac{2x^3 - 12x}{x^2 - 9}$  を用いて表される曲線  $C: y = f(x)$  がある。以下の設問に答えよ。

(1)  $\lim_{x \rightarrow \infty} \{f(x) - (ax + b)\} = 0$  を満たす定数  $a, b$  を求めよ。

(2) 関数  $f(x)$  の増減を調べ、曲線  $C$  のグラフの概形を描け。

(3) 曲線  $C$  と  $x$  軸で囲まれる図形の面積を求めよ。